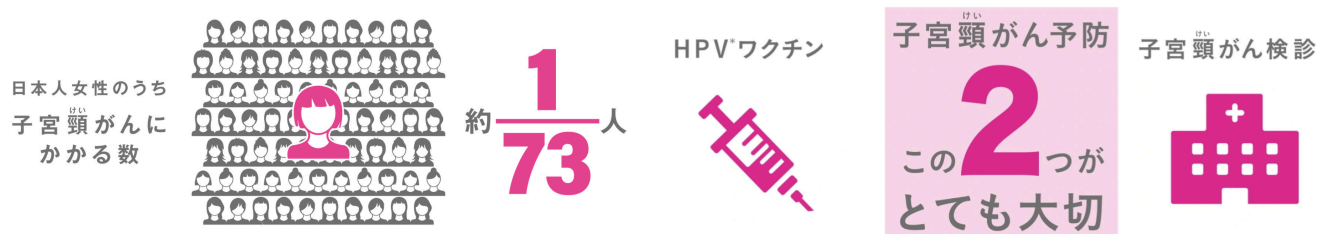


HPVワクチン（子宮頸がんワクチン） 接種を希望する方へ



子宮頸がんは、日本人女性のうち73人に1人ほどがかかる病気です。

ヒトパピローマウイルス（HPV）と呼ばれるウイルスが、子宮頸がんの発症に主に関わっています。

HPVは性交渉などで感染をし、女性の約80%の方が生涯のうちに感染すると言われています。

子宮頸がんは、20代より発症の割合は増えていき、40代でピークとなります。

HPVワクチンを接種することで、HPVの感染を防ぎ、子宮頸がんの発症を防ぐことができます。

HPVは200種類以上あり、ワクチンで全てを防ぐこともできないため、子宮頸がんの予防にはワクチンとともに子宮がん検診が大事になります。

子宮頸がんの予防のため、対象の方は公費助成により無料で接種を受けることができます。

またこの10年ほどは、積極的勧奨が控えられていたため、接種を逃していた方を対象に、3年間限定で公費助成を受けることができます。

ぜひこの機会に、ご自身の健康のため、HPVワクチンの接種をお考えください。

【公費助成の対象】

① 定期接種

小学校6年生～高校1年生相当の年度の間

② キャッチアップ接種

平成9年度～平成17年度生まれの方

3年間の限定です（令和4年4月～令和7年3月）

【接種の費用】

通常は3回接種にて約5万円かかりますが、公費助成の対象者は無料で接種を受けることができます。

【接種するワクチンの種類】

当院では、4価HPVワクチンである「ガーダシル」を接種しています。

【接種回数・間隔】

1年以内に計3回の接種が必要です。

初回接種ののち、初回接種の2ヶ月後と6ヶ月後の計3回です。

（なお事情によっては、初回接種の1ヶ月後以降、2回目接種の3ヶ月後以降に接種することは可能です）

他のワクチンとは、同時に接種しても構いません。

新型コロナウイルスワクチンのみ、お互いのワクチン接種の間隔は2週間あけることとなっています。

【接種の申込】

ワクチンの準備のため、予約をお願いしております。

予約枠は限られておりますので、候補日はいくつか準備いただき、医院へお電話にて予約をお取りください。